

せせらぎ

広報

はたち きらりと えがおさく

【令和8年町成人式の様子…関連記事2~3ヶ】



祝はたち

NO
1330

今号の主な内容

令和8年町成人式
令和7年度町勢功労者表彰
町のわだい

2~3
4
6~7

CONTENTS

2月1日号
2026

祝 山田町成人式～二十歳のつどい～



①

⑤

④

③

②



令和8年町成人式～二十歳のつどい～ 華やかな門出感謝を胸に

1月11日、「令和8年町成人式～二十歳のつどい～」が町中央公民館大ホールで開かれました。同式典には、平成17年4月2日から平成18年4月1日生まれまでの106人のうち、88人（男性48人、女性40人）が色鮮やかな振り袖や真新しいスーツに身を包み参加しました。ここでは、晴れて大人の仲間入りをした皆さん式の様子をお伝えします。



古館興清さん
(大沢出身)

無事に二十歳を迎えたのは、丈夫な体に育ってくれた家族のおかげです。家業を継いで、両親に恩返しができるよう頑張ります。



佐々木歩成さん
(豊間根出身)

現在は大学に通い保育士を目指しています。卒業後は、山田町に帰ってきて、保育士として働きます。

「1歳になりました」は、これまでたくさんの元気な子どもたちを掲載してきました。ここでは、二十歳を迎えた5人を当時の写真と一緒に紹介します。

**僕たち、私たち
20歳になりました**



①式典に参加した二十歳の皆さん②式典の司会を務める小林鈴菜さん(左)と柏谷友貴さん(右)③成人者を代表して町民憲章を朗読する佐々木俊太朗さん④二十歳の決意を述べる阿部清佳さん⑤松葉教育長から記念品を受け取る山崎主真さん⑥～⑩家族や友人、恩師と記念撮影などを行う二十歳の皆さん



大ホールで行われた式典では、佐藤信逸町長が「これから先、山田町で培ってきた経験や学び、支えてくださった人への感謝の心を大切にし、希望と挑戦に満ちた素晴らしい未来を築かることを心より祈っています」と参加者を激励。その後、成人者を代表して佐々木俊太朗さん(大浦)が力強く町民憲章を読み上げました。

続いて壇上に立った阿部清佳さん(織笠)は「二十歳という大きな節目を迎えたのは、寄り添い育ててくれた家族や時に厳しく、時に優しく親身になってくださった先生、温かく励ましてくださった地域の皆さん、そして苦楽を共にした仲間たちのおかげです。成人を迎えた私たちは、ふるさと山田町への感謝の気持ちを胸に、これから的人生を誠実に歩んでいきます」と『はたちの決意』を述べ、誓いを新たにしました。

式典後の記念講演では、参加者が中学校時代にお世話になった恩師6人が登壇し、当時のエピソードや写真を交えながら、門出を祝う言葉を贈りました。この日は、旧友や恩師との再会を喜ぶ姿や家族とともに記念撮影を楽しむ様子が見られ、終始和やかな雰囲気に包まれていました。

人生の門出を迎えた成人の皆さんがあれぞれの想いを胸に、夢と希望溢れる未来へ向かって歩み活躍されることを願い、心からエールを送ります。



田代成琉さん
(船越出身)

二十歳を迎えたのは、家族や友人、地域の皆さんのおかげです。消防士としてふるさと山田町を守り、地元に貢献したいです。



大町陽愛さん
(織笠出身)

家族や先生、地域の皆さんに支えられ二十歳を迎えることができました。少しでも皆さんに恩返しができるようにしていきたいです。



鎌田桜來さん
(山田出身)

これまで育ててくれた家族や先生に感謝の気持ちを伝えたいです。将来は、看護職に従事して山田町に貢献できるよう勉学に励みます。

令和7年度町勢功劳者 功績をたたえ5人を表彰



自治功勞
【行政区長】
木村忠義さん
（豊間根・77）



民生功勞
【民生委員・児童委員】
瀬川三枝子さん
(後楽町・78)



消防功勞
【消防団】
よしのり
大釋芳則さん
(織笠・66)



治安功勞
【防犯隊】
しげひこ
中村茂彦さん
(織笠・78)



自治功勞
【行政区長】
えつこ
飯岡悦子さん
(長崎・68)



謝辞を述べる瀬川三枝子さん

長年にわたりそれぞれの分野で、町に貢献していた方を表彰する、令和7年度町勢功労者の表彰式が、1月6日、町中央公民館小ホールを会場に行われました。

新年交賀会と併せて開かれた同表彰式には、来賓の昆暉雄町議会議長や鈴木俊一自由民主党幹事長衆議院議員令夫人の鈴木敦子氏をはじめとした、町内の各界代表者ら91人が参加し、受賞者をたたえました。今回表彰されたのは5人で、民功労や自治功労、治安功労、消防功労の4分野で功績が認められたものです。

式では、佐藤信逸町長が受賞者一人一人に表彰状と記念品を手渡し、長年の功

これまで活動を続けてこられたのは、関係者の皆さまや家族の支えがあつてこそです。この受賞を励みに、今後もそれぞれの立場から町勢の発展に尽力してまいります」と謝辞を述べました。会場内では、受賞者の功績をたたえながら新年を祝い、終始和やかな雰囲気で包まれていました。

績に対し敬意を表しました。これに対し、表彰された方々を代表して民生功労を受賞された瀬川三枝子さん(後楽町・78)が「私たちの活動を評価いただき、榮えある賞を賜りましたことに、心より感謝申上げます。」と



佐藤町長から表彰状と記念品が手渡されました

れない。最近読んだ本では、文明の発達の基本は人類が五本の指を巧みに使う手仕事が基本だという。手を動かして文字を書くという行為は、スマートで文字を入力するという行為よりもはるかに脳を刺激し、記憶の定着や認知機能が良好に保たれるなどのメリットがあると言われている。時にはスマホを置き、紙に思いを記してみてはいかがだろうか。

流行りで便利だと聞く。確かにスマホが一台あれば、片手ひとつで自身の予定を確認でき、買い物から支払い、各種予約などでも使えることから若者を中心に手帳を持つ人は少なくなっている。また、手帳のみならず手紙や日記も書く人は激減しているとも聞く。指で操作するだけで何でもできてしまい、字を書く必要もなく難しい漢字も使えてしまうから一度使えばやめら

町長室から

民生委員・児童委員の4人が退任

厚生労働大臣から感謝状贈られる

昨年11月30日をもつて民生委員・児童委員の任期が終了し、退任された4人に、厚生労働大臣から感謝状が贈られました。

民生委員・児童委員は、生活に困っている人や障害のある人、高齢者、子育て世帯などの困り事を抱える人の相談相手として、課題解決に向けた支援を行っています。4人は委嘱されて以来、18年以上の長年にわたり、1人暮らしをしている高齢者の見守りや子育て世帯からの相談など、地域に寄り添った活動を続けてきました。

1月15日には町役場で伝達式が行われ、佐藤信逸町長からこれまでの活動に対する感謝の言葉と共に感謝状が手渡されました。箱石さんは「これまで活動を続けることができ、うれしく思います。今後もできる範囲で、町のために力を尽くしたいです」と思いを話してくれました。



瀬川三枝子さん
(後楽町・78)



箱石紅子さん
(八幡町・76)



藤原初代さん
(荒川・72)



佐々木郁子さん
(荒川・81)

いわて農林水産躍進大会 中村さんご夫妻が意欲ある扱い手賞



左から中村敏彦さん(大沢・54)と麻利さん(同・55)

昨年12月23日、いわて農林水産振興協議会主催の「令和7年度いわて農林水産躍進大会」が岩手県民会館(盛岡市)で開かれ、中村敏彦さん(大沢・54)、麻利さん(同・55)ご夫妻が意欲ある扱い手賞(水産業部門)を受賞しました。これは、漁業を営む傍ら、観光客や町内の小中学生を対象とした漁業体験を行い、水産業の魅力発信や扱い手育成活動を積極的に取り組むなど、水産業の発展に貢献したことが評価されたものです。中村敏彦さんは「この賞は、これまで活動を支えてくださった皆さんと共にいたいたいものです。今後も町の水産資源を守りながら、次世代へつないでいけるよう力を尽くします」と意気込みを話しました。

町防犯隊の長崎さん 防犯栄誉銅章を受章



左から山田交番の住吉正幸所長、防犯隊の長崎俊文班長(長崎・84)、宮古地区防犯協会連合会の阿部高士副会長

町防犯隊班長を務める長崎俊文さん(長崎・84)に、このほど(公財)全国防犯協会連合会から防犯栄誉銅章が贈呈されました。この表彰は、長きにわたり防犯活動に尽力し、犯罪防止に多大な功労のあった人たちに贈られるものです。長崎さんは平成14年から約23年に渡り、町防犯隊員として防犯パトロールや特殊詐欺被害防止広報活動などに尽力されました。昨年12月23日には山田交番で表彰状贈呈式が行われ、宮古地区防犯協会連合会の阿部高士副会長から表彰状が手渡されました。長崎さんは「このような栄誉をいただきうれしく思います。これからも地域の安全を守るために活動を続けていきたいです」と活動への思いを話してくれました。

山田中1年生が豆すとぎ作り 郷土食の文化と味に触れる

昨年12月15日から17日にかけて、山田中学校(八幡一臣校長、生徒276人)の1年生88人が、町の郷土食として伝わる豆すとぎ作りを体験しました。これは、地域の食文化に親しんでもらおうと行われたもので、当日は荒川農産物加工組合の斎藤みつ子さんから、豆すとぎの由来や作り方を学習。生徒らは、ゆでた青大豆をつぶしたりこねたりと慣れない作業に苦戦しつつも、協力して作り上げていました。出来立てを味わった藤野悠雅さんは「初めて食べだけど、おいしかったです」と笑顔を見せっていました。



「エイッ」の声が境内に響く 山田町空手道スポ少初稽古

1月11日、山田町空手道スポーツ少年団(佐々木博代表)が初稽古を行いました。これは、空手の上達と今年1年の稽古の安全を願い毎年行われているもので、当日は、真っ白な胴着に身を包んだ団員ら15人が参加。時折、雪がちらつく寒空の下、町立武徳殿から山田八幡宮までの走り込みに続き、境内で基本形の奉納演舞を披露しました。厳しい寒さも吹き飛ばすかのような力強い突きや蹴りが繰り出され、「エイッ」という気迫のこもった掛け声が何度も響き渡っていました。



交通指導隊と防犯隊が合同初点検 安全・安心な町づくりへの決意新たに

1月16日、町中央コミュニティセンターで町交通指導隊(長崎俊文隊長、隊員12人)と町防犯隊(大石秀男隊長、隊員13人)の合同初点検が行われました。式では、佐藤信逸町長のほか、昆嘆雄町議会議長、高橋和美宮古警察署長らが両隊員の服装を点検し、その後、訓示として佐藤町長から「安全・安心な町づくりの実現には、皆さんの日々の活動が極めて重要です。今後もご協力をお願いします」と激励。長崎隊長と大石隊長は「交通事故や犯罪のない町を目指し努めてまいります」と力強く決意を述べました。



「第23回IATふるさとCM大賞」審査会 本町の応募作品が銀賞を受賞

昨年12月13日、岩手朝日テレビ主催の「第23回IATふるさとCM大賞」の審査会が盛岡市で行われ、本町の作品が銀賞を受賞しました。これは、15秒CMを作成し古里自慢を競い合うもので、今年は25市町村が参加。本町からは山田高等学校の生徒と漁業者、町職員が協力して作成した「わたし、やまだ育ち」を応募しました。本作品は、豊かな自然の中で、漁師の愛情を受けて育つカキの様子をテーマに作成したものです。県内で年間80本放送されるほか、上記二次元コードから見ることができます。



田

のわだい、

今月の題字 田老 史江さん（山田小6年）

地域のつながり深める

旧山田北小学校校区のPTAで組織する「北っこの会」(小野浩樹会長)では、1月12日に山田北地区コミュニティセンターで「みづき団子作り」を行いました。これは、正月行事を次世代に伝えることを目的に開かれたもので、地区住民ら約50人が参加。当日は、子どもたちが団子を丁寧に丸め、枝いっぱいに飾り付けたほか、郷土食として伝わる「かねなり」作りにも挑戦しました。会場では、保護者から豚汁が振る舞われ、参加者らはみづき団子やかねなりとともに味わいながら交流を深め、地域のつながりを感じている様子でした。



各地区でみづき団子づくり



世代を超えた交流広がる

1月8日、織笠コミュニティセンターで地区的子どもたちを対象に「みづき団子づくり交流会」が開かれました。これは、織笠やまゆり会(昆シメ子会長)が、季節の伝統行事に親しんでもらあうと開催したもので、地域住民ら20人が参加しました。当日は、同会の皆さんから「みづき団子」の由来や作り方の説明を受けると、子どもたちは色とりどりの団子を丸め、次々と枝に飾り付け。完成後の交流会では、子どもたちからなぞなぞクイズが出題され、大人も子どもも知恵を出し合いながら回答する姿が見られ、世代を超えて楽しいひとときを過ごしている様子でした。

小正月の伝統行事「なごみ」「いい子にする」涙ながら約束

1月15日夜、織笠地区では小正月の伝統行事「なごみ」が行われ、恐ろしい表情のなごみたちが家々を回りました。これは、古き良き風習を伝えていくと教育振興運動織笠地区実践協議会(昆尚人会長)が毎年行っているもので、会員扮するなごみたちが大きな包丁や南京袋を手に「ピーピー」と独特の音を笛で鳴らしながら暴れ回りました。「悪いわらすはいねえが」と、突然乱入してくるなごみの姿は、子どもたちにとっては恐怖そのもの。叫ぶなごみらを前に「いい子にします」と涙ながらに約束する姿が見られ、今年も伝統の一夜に地区内がにぎわいました。



公 表

令和6年度

人事行政の運営状況

町は、人事行政運営の公平性と透明性を高めるため「人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づいて、職員の勤務条件や服務の状況などを公表しています。職員の給与や職員数などの詳しい内容は、広報やまだ3月1日号に掲載する予定です。

◆問い合わせ 町総務課行政係(☎82-3111内線414)へ。

1 勤務時間その他の勤務条件の状況

(1) 勤務時間の状況（正規の勤務時間）

職務の勤務時間	休憩時間を除き、4週間を超えない期間につき1週間当たり38時間45分
職員の勤務時間の割り振り	午前8時半から午後5時15分まで 休憩時間…正午から1時間

(2) 一般職員の年次有給休暇の使用状況

総付与日数	総使用日数	全対象職員数	平均使用日数	消化率
6,248日	1,946日	165人	11.8日	31.1%

(3) 特別休暇の導入状況

種類	付与日数
骨髄提供のための休暇	必要と認められる期間
ボランティア休暇	5日の範囲内の期間
結婚休暇	連続する7日の範囲内の期間
産前休暇	8週間以内に出産する予定の職員が、出産する日までの請求した期間
産後休暇	出産の日の翌日から8週間を経過するまでの期間
妻が出産する場合の休暇	3日の範囲内
保育期間	1歳6ヶ月未満の子を育てる職員が、保育期間として1日2回それぞれ1時間
夏季休暇	原則として連続する7日の範囲内の期間(6月~10月)
出生サポート(不妊治療)	12日の範囲内の期間

(4) 育児休業や部分休業などの取得状況

区分	取得範囲	人数
育児休業	最大3年間	5
部分休業	1日最大2時間	—
育児短時間勤務	1週間当たり19時間25分~24時間35分の短時間勤務ができる	—

※令和6年度に新たに取得した職員分です。

(5) 介護休暇の取得状況

負傷や疾病、老齢によって日常生活を営むのに支障がある配偶者、父母、子などの介護をするために、6ヶ月の範囲内で介護休暇を取得することができます。令和6年度の取得者はありませんでした。

2 分限と懲戒処分の状況

(1) 分限処分者数

(単位：人)

区分	降任	免職	休職	降給	計
処分者数	—	—	1	—	1

※同一の者が複数回にわたって分限処分を受けた場合は、その数を重複して計上しています。

(2) 懲戒処分者数

(単位：人)

区分	免職	減給	停職	戒告	計
処分者数	—	—	—	—	—

3 服務の状況

全ての職員は「全体の奉仕者」として公共の利益のために勤務し、職務遂行に当たっては全力で奉仕しなければなりません。この服務の基本原則を忠実に実行するため、職員研修や職場内研修、通知発令などを行い、服務規律の遵守に努めています。

4 研修と人事評価の状況

(1) 研修の実施状況

(単位：人)

研修区分	研修課程名	修了者数
一般研修	新規採用職員研修、一般職員研修基礎I・II・III、監督者級研修、管理者研修	38
専門研修	法規事務、財務事務、税務事務、財産管理事務、広報担当	5
特別研修	政策形成講座、リーダー養成研修、管理者級能力開発講座	4
府内研修	新規採用職員研修	10
その他	自治体財政運営講座、住民協働による地域づくり、災害に強い地域づくりと危機管理、管理職のためのリーダーシップ・マネジメント講座	4

(2) 人事評価の実施状況

平成28年度から職員の能力と業績に基づく人事評価制度を導入し、人事異動や人材育成などに活用しています。

5 福祉と利益の保護の状況

(1) 職員の健康診断の状況

検診名	対象職員数	受診者数	受診率
子宮頸がん検診	65人	36人	55.4%
乳がん検診	36人	27人	75.0%
胸部検診	202人	183人	90.6%
肝胆脾腎検診	126人	116人	92.1%
胃がん検診	126人	95人	75.4%
循環器検診	202人	187人	92.6%

(2) 公務災害補償の状況

公務災害補償とは、公務上または通勤による災害（負傷や疾病、障がい、死亡）に対する補償です。令和6年度に認定された公務災害はありませんでした。

みんなのスペース

◆宛先・問い合わせ

〒028-1392 (住所不要)
山田町役場総務課秘書広報係(☎82-3111)内線416/
メール:info@town.iwate-ya-mada.lg.jp)へどうぞ。

やまだ 文芸広場

「初詣」
行き通う人の願い事
午一く叶えられますように

松の内
おもいをこめて
柏手を

伊藤 順子

凍て星
泳ぐ電飾のクジラ

梅の枝固いつぼみを花瓶入れ
年始め花咲き祝い添え

尾形 良子

「はなこ」

「俳句」
仕合わせを
分かちあうかに
雀二羽
春来る向こうを
同時に見上ぐ

下坂 中村
アキ子 八十

いっちゃん

「ひたすら春まつ」
清らかにふくらむ
梅の花

小林 りつ子

スーパーで
いきりたつて
おじいちゃん
節分で外に
出された鬼か

悠



社会福祉法人親和
会恵みの里眺望(なが
め)さんから「なごみ」
が来ました。
両保育所・園の先生



福士 慶一郎

4歳のひ孫が
書いたアンパン
マンです。
杉谷ミサ子



坂本 樹

教育委員会だより vol.90

◆問い合わせ ▶町学校教育課総務係 (☎82-3111内線311) ▶町生涯学習課 (☎82-3111内線621) へ。

天空海闊

一空、とこしえに碧くして 海、穏やかにどこまでも

児童・生徒の就学や進学をサポート

支援制度を活用ください



町と育英会では、学ぶ意欲のある子どもが経済的理由で進学や就学を断念することのないよう、奨学金や就学援助の制度を設けています。希望する人は、ご相談ください。

◆問い合わせ 町学校教育課総務係(内線313)へどうぞ。

■奨学金制度

◆応募資格 家計が学業の継続に困難な状況にあるが、奨学生の貸付で継続が可能な町内在住者

◆貸付内容

◎山田町育英会 ▽採用人数 ▼高校生:3人程度

▽奨学金 ▼高校生:月額2万円 ▼大学生・短大生・専門学校生:月額5万円

▽返還方法 卒業後10年間で▼月払い▼半年払い▼年払い

▽返還方法 ▼半年払い▼年払い

※成績や素行の不良、退学などの場合は、直ちに返還を求めることがあります。

◎伊藤育英会

▽返還方法 卒業後20年間で▼返還方法

月払い▼半年払い▼年払い

▽返還免除 貸与金額の2分の1相当額を遅滞なく返還した場合、残余の返還を免除

◆申し込み方法 町学校教育課

に備え付けの願書に必要事項を記入し、必要書類を添えて提出

◆申込期限 3月4日

■就学援助制度

負担が困難な小中学生の保護者を対象に、学用品や通学用品などの費用の一部を援助します。

▽対象者 ▼町民税が非課税か免除されている人▼児童扶養手当を受給している人▼東日本大震災で被災し、生活に困窮していると町教育委員会が認めた人▼その他経済的に困窮し、町教育委員会が援助の必要性を認めた人

▽申し込み方法 各小中学校に備え付けの申込用紙に必要事項を記入し、学校へ提出

◆主な許可理由

学区外通学	①学年途中に通学区域外に転居したとき
	②入学後に転居を予定し、異動するまでの間、転居予定先の住所を通学区域とする学校へ通学するとき
	③保護者の共働きなどで、下校後に児童を監護する者が同居する家族にいないため、祖父母などの預かり先の住所を通学区域とする学校へ通学するとき
	④短期間の転居で、再び元の通学区域に戻ることが予想されるとき
	⑤児童への教育的配慮が必要であると認められるとき

区域外就学	①学年途中に町外へ転出したとき
	②国立や私立の小・中学校に入学するとき
	③児童生徒への教育的配慮が必要であると認められるときや、家庭の事情などでやむを得ないと認められるとき

◆申請先・問い合わせ 町学校教育課総務係(内線313)へどうぞ。

学区外通学や区域外就学 希望者は申請が必要です

家庭の事情などで町教育委員会から指定された学校以外の学校へ通学を希望する場合には、通学先が町内であれば「学区外通学」、町外であれば「区域外就学」の手続きが必要です。

右表の許可事由に該当し、「学区外通学」や「区域外就学」を希望する人は、お問い合わせください。

▷対象者

- ▶学区外通学…町教育委員会が指定する小学校以外の町内の小学校へ通学を希望する人
- ▶区域外就学…本町に住民登録があるが、町外の学校へ通学を希望する人

※中学校は町内が1つの学区となるため、学区外通学はありません。

▷留意事項 「学区外通学」や「区域外就学」の許可は1年単位です。原則として、家庭で通学手段の確保が可能な場合に限ります。

会計年度任用職員を募集

町では、4月1日から来年3月31日まで勤務する会計年度任用職員を募集します。希望する人は、町民課や役場各支所に備え付けの履歴書用紙に必要事項を記入し、2月13日までに各申込先に提出してください。

仕事内容や任用条件などの詳しい内容は、宮古公共職

業安定所で公開する求人票でご確認いただけ、直接お問い合わせください。

◆申込先・問い合わせ 山田町役場(☎82-3111)へ。

※代表電話につながりますので、各募集内容の「申込先・問い合わせ」に記載された内線番号をお伝えください。

◇募集内容一覧

募集内容(人数)	仕事内容(備考)	勤務形態	任用条件	月額報酬	申込先・問い合わせ
放課後児童支援員(19人)	町内放課後児童クラブで小学校の放課後や土曜日を含む休校日などに児童の見守りや施設環境づくりを行う	週30時間勤務(1年間の変形労働制)	普通自動車運転免許、教諭免許・保育士の資格があればなお可	138,089円 ～155,279円	町健康子ども課 子ども子育て係(内線602)
学校支援員(1人)	小中学校で学習支援などを必要とする児童・生徒の対応、教職員の補助やその他学校行事などの補助業務	週30時間勤務(1年間の変形労働制)	普通自動車運転免許がある人	138,089円 ～155,279円	町学校教育課 総務係(内線313)
学校支援員(1人) ※産休・育休代替職員	小中学校で学習支援などを必要とする児童・生徒の対応、教職員の補助やその他学校行事などの補助業務(任用期間が4月1日から産休・育休職員が復帰するまでの期間となります)	週30時間勤務(1年間の変形労働制)	普通自動車運転免許がある人	132,168円 ～148,864円	町学校教育課 総務係(内線313)
非常勤校務員(3人)	町内小中学校の校舎内外(校庭、プールなど)の環境整備、施設・設備の管理や補修など	週30時間勤務			
通学バス運転手兼校務補助員(3人)	通学バスの運転手、学校の環境整備や設備の維持管理、校務員の補助や諸行事の補助業務、閉校学校の備品整理など	週35時間勤務	第二種大型自動車運転免許がある人	158,610円 ～179,336円	町学校教育課 総務係(内線312)
地域学校支援コーディネーター(2人)	小中学校と地域をつなぐ体験事業の企画と運営、学校や関係機関との連絡調整など	週30時間勤務		138,089円 ～155,279円	町生涯学習課 社会教育係(内線625)
スポーツ指導員(1人)	社会体育施設の管理と利用者対応、社会体育事業や各種スポーツ競技大会の運営支援など	週30時間勤務		138,089円 ～155,279円	町生涯学習課 社会体育係(内線622)
文化財事務補助員(1人)	文化財や芸術文化に関連する業務など	週23時間25分勤務	普通自動車運転免許がある人、パソコン(Word、Excel)を操作できる人	107,019円 ～120,341円	町生涯学習課 文化係(内線630)
図書館指導員(5人)	町立図書館とふれあいセンターでの施設の維持管理、各種イベント等の企画運営、図書の貸出し・整理・保存等の図書館業務など	週30時間勤務(図書館の勤務表による)		138,089円 ～155,279円	町立図書館(☎82-3420)
鯨と海の科学館事務員(1人)	鯨と海の科学館で、来館者への対応、施設の維持管理、各種イベントの企画運営など	週31時間勤務(シフト制)		142,692円 ～160,455円	鯨と海の科学館(☎84-3985)



ふるさと探究発表会 山田高校にご来場を

岩手県立山田高等学校では、生徒が取り組む防災や地域への探究活動の内容を知ってもらおうと「ふるさと探究発表会」を開催します。申し込みは不要でどなたでも参加できますので、この機会に来場してみませんか。

▷期日 2月18日(水)
▷時間 午後2時半～3時20分
▷場所 山田高等学校

◆問い合わせ 山田高等学校(☎82-2164)へどうぞ。

介護家族のための リフレッシュ教室

町では、家族を介護している人や介護を受けている人を対象に「リフレッシュ教室」を開催します。

参加費は無料ですので、お気軽にお申し込みください。

▷期日 2月19日(木)
▷時間 午後1時半～3時
▷場所 まちなか交流センター
▷内容 「リラクセーション」をテーマに講話と体験を行います。
▷申込期限 2月18日

◆申込先・問い合わせ 山田町地域包括支援センター(☎82-3136)へどうぞ。

子育て中の就職活動 ハローワークで支援

ハローワーク宮古では、子育てをしながら働きたい人のための専用相談室「マザーズコーナー」を設置しています。キッズスペースで子どもを遊ばせながら、就職相談や求人事業所への紹介を受けられますので、お気軽にご利用ください。

▷利用時間 午前8時半～午後5時15分
※土・日曜日、祝日、年末年始を除く
◆予約先・問い合わせ ハローワーク宮古(☎63-8609)へ。

潮風トレイル体験に 参加してみませんか

町では、三陸ジオパーク・みちのく潮風トレイル体験ウォーキングイベントを開催します。参加費は無料ですので、この機会に町の自然を体感しませんか。

▷日時 2月28日(土)午前9時～午後0時15分

▷集合場所 鯨と海の科学館

▷対象 小学生以上の人

※小学3年生以下は保護者同伴

▷内容 荒神海水浴場から鯨と海の科学館まで約4キロのウォーキングを行うほか、鯨と海の科学館見学を行います。

▷定員 20人

▷持ち物 雨具、帽子、飲み物、行動食(おやつなど)

▷申込期限 2月19日

◆申込先・問い合わせ 町商工観光課観光振興係(内線222)へどうぞ。

令和8年度給食の食材 納入業者を募集します

町では、令和8年度の学校給食用物資納入業者を募集します。希望する事業者は、事前に登録が必要となりますので、期間内に必要書類を提出してください。

▷登録の主な要件 ▶町内や宮古市、大槌町、釜石市のいずれかに本社や営業所を有する▶町税などの滞納がない▶学校給食センターの所要量を納品できる能力が十分で、指示された日時に確実に納品できるなど

▷申請方法 下記の書類を郵送か持参で提出ください

▷提出書類 ▶登録申請書▶町税の滞納がないことの証明書▶誓約書——など

▷申請期間 2月2日～3月13日
※詳しい内容は、お問い合わせください。

◆申込先・問い合わせ 町学校給食センター(〒028-1361山田町織笠14-32-1 ☎65-6641)へどうぞ。

住民税非課税世帯などが対象 物価高騰対応臨時給付金を支給します

町では、住民税所得割が非課税の世帯に対し、給付金を支給します。支給対象者には順次、お知らせを送付しています。「支給のお知らせ」が届いた人は申請不要ですが、「確認書」や「申請書」が届いた人は内容を確認し、忘れずに返送または申請してください。

▷支給額 1世帯当たり2万円

▷対象者 令和7年12月1日(基準日)時点で本町に住民登録があり、次の①または②に該当する世帯の世帯主 ▶①世帯全員の住民税所得割(令和7年度分)の課税がない世帯▶②①に該当しない世帯で、予期せず令和7年1月から12月までの家計が急変し、同一世帯全員が住民税均等割非課税の人と同様の事情にあると認められる世帯

▷申請方法

▶「支給のお知らせ」が届いた人…申請不要です。支給を辞退される場合は、ご連絡ください

▶「確認書」が届いた人…内容を確認し、必要事項を記入の上、返送してください

▶「申請書」が届いた人…支給要件に該当する場合は、申請する必要があります。申請書に必要事項を記入し、持参や郵送で提出してください
▶対象者②の家計が急変した世帯…町役場での手続きが必要です。申請には、本人確認書類や家計の状況がわかる書類などの提出が必要になりますので、事前にお問い合わせください

▷申込期限 3月31日

◆申込先・問い合わせ 町長寿福祉課福祉チーム(内線148)へどうぞ。

非課税世帯が対象 灯油代の一部を助成します

町では、冬季の物価高騰対策事業として、低所得者世帯を対象に灯油代などの一部を助成します。対象者には順次、お知らせを送付しています。「支給のお知らせ」が届いた人は申請不要ですが、「申請書」が届いた人は内容を確認し、期限内に申請してください。

▷支給額 1世帯当たり1万円

▷対象者 昨年12月1日時点で本町に住民登録がある世帯のうち、次の要件のどちらかに該当する世帯の世帯主 ▶令和7年度の住民税が世帯全員非課税である世帯▶生活保護を受給している世帯

▷申込期限 2月13日

◆申込先・問い合わせ 町長寿福祉課福祉チーム(内線152)へどうぞ。



おしゃせ



取材先で出会ったかわいい笑顔

各種の無料相談 お気軽に利用を

◎山田町法律相談センター

▷相談日 2月3日(火)、10日(水)、17日(火)、24日(火)

▷時間 午前10時～午後3時

▷場所 町中央コミュニティセンター第1研修室

▷相談内容 法律問題の悩み事

◆問い合わせ 岩手弁護士会(☎019-623-5005)へどうぞ。

◎行政相談所

▷相談日 2月26日(木)

▷時間 午後1時半～3時半

▷場所 町中央コミュニティセンター第2研修室、集会室

▷相談内容 行政機関への意見や要望など

◆問い合わせ 町民課地域安全係(内線126)へどうぞ。

◎特設人権相談所

▷相談日 2月6日(金)

▷時間 午前10時～午後3時

▷場所 町まちなか交流センター2階交流スペース

▷相談内容 親子や夫婦関係、職場、学校などでの悩み事

◆問い合わせ 盛岡地方法務局宮古支局(☎62-2337)へ。

◎「こまりごとなんでも相談会」

▷相談日 2月13日(金)

▷時間 午前10時半～正午

▷場所 町中央コミュニティセンター相談室

▷相談内容 仕事やお金など生活上の悩み事や心配事

◆問い合わせ 宮古圏域くらしサポートセンター(☎65-8815)へどうぞ。

町への意見はこちら

町では、町への意見や要望、提案などを常時受け付けています。

▷電話 82-3111(代表)

▷ファクス 82-4989

▷メール info@town.iwate-yamada.lg.jp

在宅医療講演会を11日に開催します

町では、「人生会議」はじめてみませんか?～人生100年時代自分らしく生きるために～をテーマに在宅医療・介護連携講演会を開催します。

無料ですので、家族や友人とお説明合わせの上、ご参加ください。

▷期日 2月11日(水・祝)

▷時間 午後1時半～3時

▷場所 町中央公民館大ホール

▷内容 もしもの時に備えて、望む医療やケアを受けたいかを考え共有する「人生会議」の大切さや在宅医療の現状などを学びます。

▷講師 県立山田病院 総合診療科長 工藤銀河氏

▷申込期限 2月9日

◆申込先・問い合わせ 山田町地域包括支援センター(☎82-3136)へどうぞ。

地域ボランティア活動学ぶ講座を開催します

(福)山田町社会福祉協議会では、「地域支えあいボランティア養成講座」を開催します。

地域支えあいボランティアとは、誰もが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせる町づくりを目指し、あらゆる分野で活躍するボランティアです。

どなたでも参加できますので、自身の得意なことを生かし、活躍の場を広げてみませんか。

▷期日 2月14日(土)

▷場所 町中央コミュニティセンター2階集会室

▷時間 午後1時～4時

▷内容 ボランティアの基礎知識や活動のポイントなどを学ぶことができます。

▷定員 15人程度

▷費用 無料

▷申込期限 2月12日

◆申込先・問い合わせ (福)山田町社会福祉協議会(☎080-5849-5736)へどうぞ。

認知症を学ぶ講座18日に開催します

町では、認知症への理解を深めてもらうために認知症サポーター養成講座を開催します。

認知症の人とその家族が過ごしやすい環境を作っていくために必要な知識を学ぶことができますので、家族や友人などと一緒に参加してみませんか。

▷期日 2月18日(水)

▷時間 午後1時半～午後3時

▷場所 町中央コミュニティセンター2階集会室

▷内容 認知症の症状や対応方法、認知症サポーターとしてできることなどを学びます。

▷費用 無料

▷定員 20人

▷申込期限 2月10日

◆申込先・問い合わせ 山田町地域包括支援センター(☎82-3136)へどうぞ。

ふるさと就職奨励金3月末までに申請を

町では、町内に就職する若者を増やすため、新卒者を雇用した町内の事業主に奨励金を交付しています。希望する事業主は、お問い合わせください。

▷対象 次の全てを満たす事業主

▶町内に事業所、店舗、工場のいずれかを所有している

▶町に住民登録がある新卒者を令和6年10月1日以降に常用雇用者として6ヵ月以上雇用している

▶新卒者を雇用した日から起算して過去1年間に他の常用雇用者を事業主の都合で解雇していない

▷交付額 新卒雇用者1人当たり10万円

▷申請期限 3月31日

※詳しい内容は、お問い合わせください。

◆申請先・問い合わせ 町商観光課商工労働係(内線225)へどうぞ。

鯨と海の科学館で野鳥観察会を開催

鯨と海の科学館では、野鳥観察会(バードウォッチング)を開催します。野鳥を観察することで、身近な自然を学ぶことができますので、家族や友人などと参加してみませんか。

▷期日 2月14日(土)

▷時間 午前9時半～正午

▷定員 12人

※小学校3年生以下は保護者同伴となります。

▷費用 無料

▷申込期限 2月13日

※定員になり次第締め切りとなります。

◆申込先・問い合わせ 鯨と海の科学館(☎84-3985)へ。

「食の匠の技」公開講座10日までに申し込みを

◎「食の匠の技」公開講座

▷期日 2月19日(木)

▷時間 午前10時～午後0時半

▷会場 山口公民館(宮古市山口)

▷内容 「するめの酢漬」と「いもだんす」の調理実習

▷定員 12人(抽選)

▷参加費 1,200円(材料代)

▷申込期限 2月10日

◆申込先・問い合わせ 宮古農業改良普及センター・佐藤(☎64-2220)へどうぞ。

宮古・下閉伊地域就職面談会を開催

◎「宮古・下閉伊地域ふるさと就職面談会」【無料】

▷期日 2月27日(金)

▷時間 午後1時半～3時半

▷場所 イーストピアみやこ(宮古市宮町)

▷対象 宮古・下閉伊地域に就職を希望する人や地元の企業を知りたい人など

▷申込期限 2月26日

◆申込先・問い合わせ ハロー・ワーク宮古(☎63-8609)へ。

あめでた・あくやみ

12月届け出分(敬称略)

〔出生〕()は性別と保護者

△山田 堀合磨絃(男・隆輝)、佐藤碧祝(男・進哉)

△豊間根 菊地由乃(女・孝幸)

〔結婚した二人〕()は住所

川村大夢(大浦)・山崎詩織(大浦)

佐々木滉太(山田)・甲斐谷紗良(山田)

昆清貴(織笠)・佐々木沙織(豊間根)

山崎昂太(荒川)・菊地亜海(盛岡市)

〔死亡〕()は年齢

△山田 田代ハナ(105)、貫洞照子(80)、田代省平(94)、澤田秀幸(70)、佐々木民夫(92)

△船越 黒沢律子(81)、加藤茂(70)、山崎キマ(93)、中村輝三(91)

△田の浜 佐々木光子(89)

△大浦 赤瀬栄子(86)

△大沢 成ヶ澤トメ(91)、鳥居實(85)

△荒川 佐々木年夫(87)、館石誠(85)、佐々木多喜子(81)

町民のうごき

(12月1日～31日)

△出生……3人 △転入……20人

△死亡……26人 △転出……23人

△人口…13,508人(今月減26人)

男…6,622人 女…6,886人

△世帯数……………6,338世帯



※敬称略、()内は地区名・性別・保護者です。



崎尾奏空
(飯岡・男・洋介)



佐藤耀
(山田・男・泰成)



阿部朔也
(織笠・男・徹)



佐々木光奏
(石崎・女・友輔)

8日は『人づくり町づくり町民のつどい』

アナウンサーの福澤朗さんが特別講演

町では、「創り育むまちとひと～ひとがまちを創りまちがひとを育む～」をテーマに人づくり町づくり町民のつどいを開催します。教育表彰授与式後の特別講演会では、アナウンサーとして活躍している福澤朗さんを講師に招き、講演を行います。申し込みは不要ですので、家族や友人などとお誘い合わせの上、直接ご来場ください。

※特別講演会は、未就学児の参加をご遠慮いただく内容となっています。託児スペースを設けておりますので、ご利用ください。



講師：福澤朗さん

【講師プロフィール】

東京都出身で現在62歳。昭和63年に早稲田大学第一文学部を卒業し、同年に日本テレビに入社。アナウンサーとして「ズームイン!!朝！」や「真相報道パンキシャ！」など数々の番組に出演したほか、現在も「開運！なんでも鑑定団」や「世界卓球」などの番組で活躍されています。

日 時 2月8日(日)

【教育表彰授与式】午後1時から

【特別講演会】午後2時半から

※開場は午後0時半からです。

場 所 町中央公民館大ホール

演 題 「NOチャレンジ NOLIFE！チャレンジライフのコミニケーション術」

入場料 無料

◆問い合わせ 町生涯学習課社会教育係(内線625)へどうぞ。

ご利用ください「インフォやまだ」

災害緊急情報や暮らし情報を配信しています。下記二次元コードからご利用ください。

■アプリ



Android端末

■メール



iOS端末

※詳しい内容は、お問い合わせください。

◆問い合わせ 町総務課危機管理室(内線415)へどうぞ。

◆ 成人の晴れ姿に、我が子たちもいつかは…と想像し、寂しい気持ちになります。私がいつでも娘2人に加え新たに贈予が誕生しました。寂しさでも追憶しますが、どうやらかな今を楽しむたいと願っています。

◆ ふるわむとこ大賞で銀賞を受賞して協力いたいたいた皆さん、ありがとうございました。うれしさも束の間「来年は何を撮る?」と悩みが戻りました。オススメの題材があれば、ぜひ教えてください。

